

令和元年度大野城市人権問題に関する 市民意識調査結果報告書(概要版)

【調査のねらい】

人権問題に関する市民の皆様の意識を把握し、教育・啓発事業等の人権施策の一層効果的な推進を図るとともに、今後本市が取り組むべき人権行政のあり方を検討する上での基礎資料を得るために実施しました。

I 調査の方法

調査対象	満 18 歳以上の市民 2,000 人 (平成 31 (2019) 年 4 月 1 日基準日)
調査方法	郵送法 (郵送配付、郵送回収)
調査期間	令和元 (2019) 年 11 月 18 日 (月) ~ 12 月 6 日 (金)
配付数 (A)	2,000 人
不達数 (B)	5 人
回収数 (C)	1,044 人回収
回収率 (C/A-B)	52.3% (前回調査 (平成 26 (2014) 年度) 回収率 53.3%)

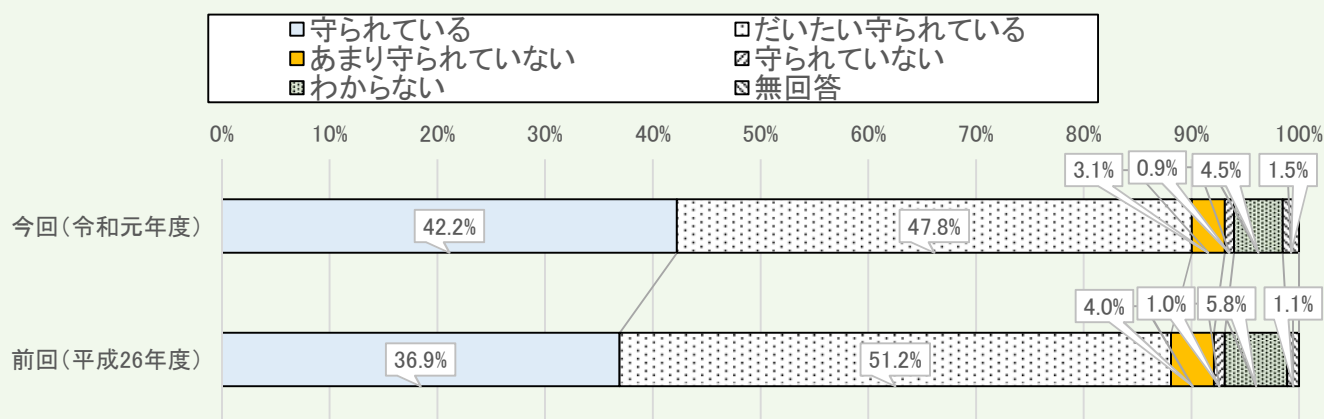
【概要版の見方】

- ・調査票を集計した数値は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が四捨五入の関係で 100%にならないことがあります。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合は、要約して短く表現している場合があります。

II 調査結果の概要

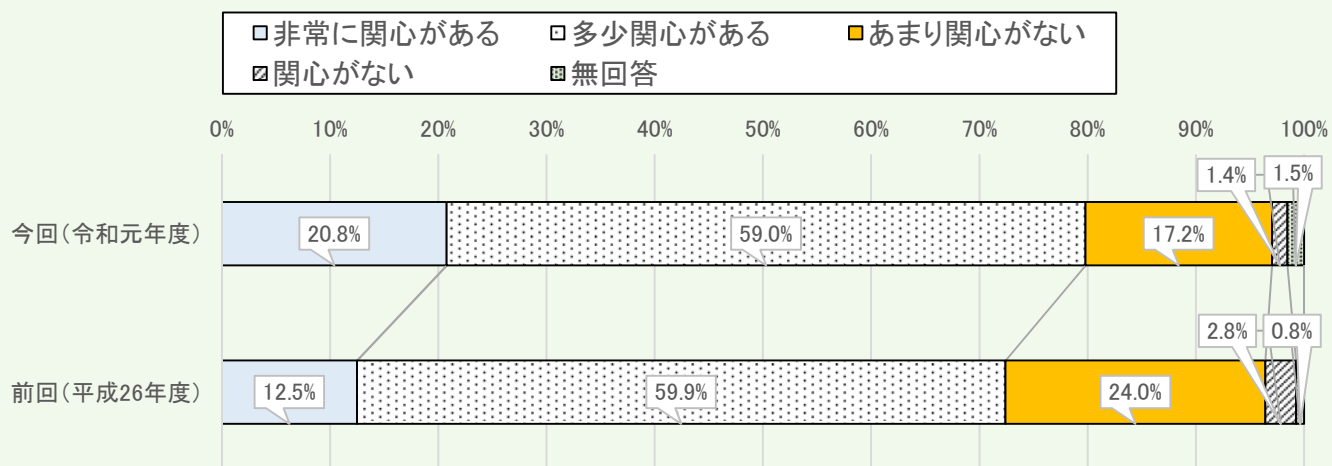
1 人権全般について

Q1 あなたの人権は守られていると思いますか (問1)



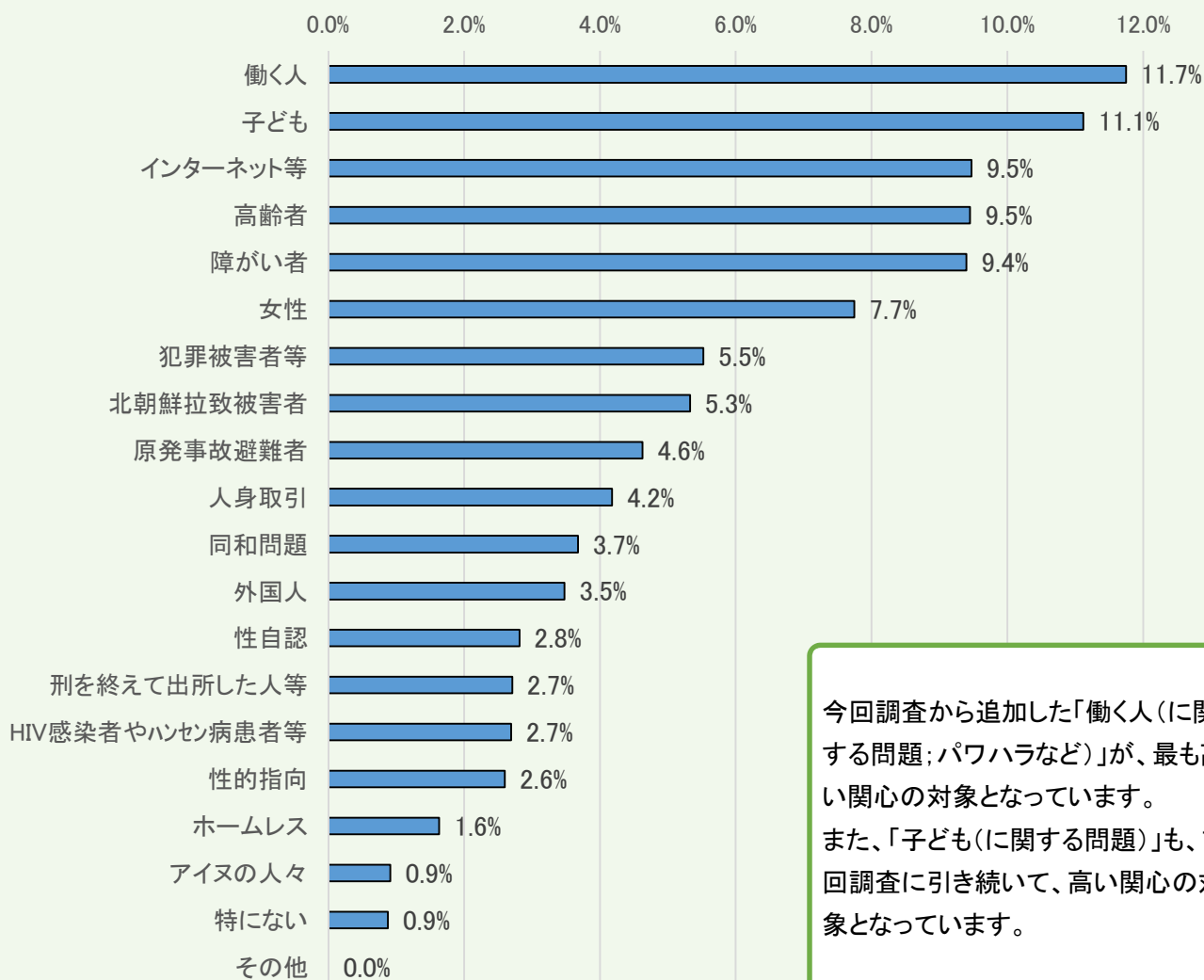
前回調査と比較して、「守られている」又は「だいたい守られている」と思う人の割合は、1.9 ポイント増加しています。

Q2 人権問題にどの程度関心がありますか（問2）



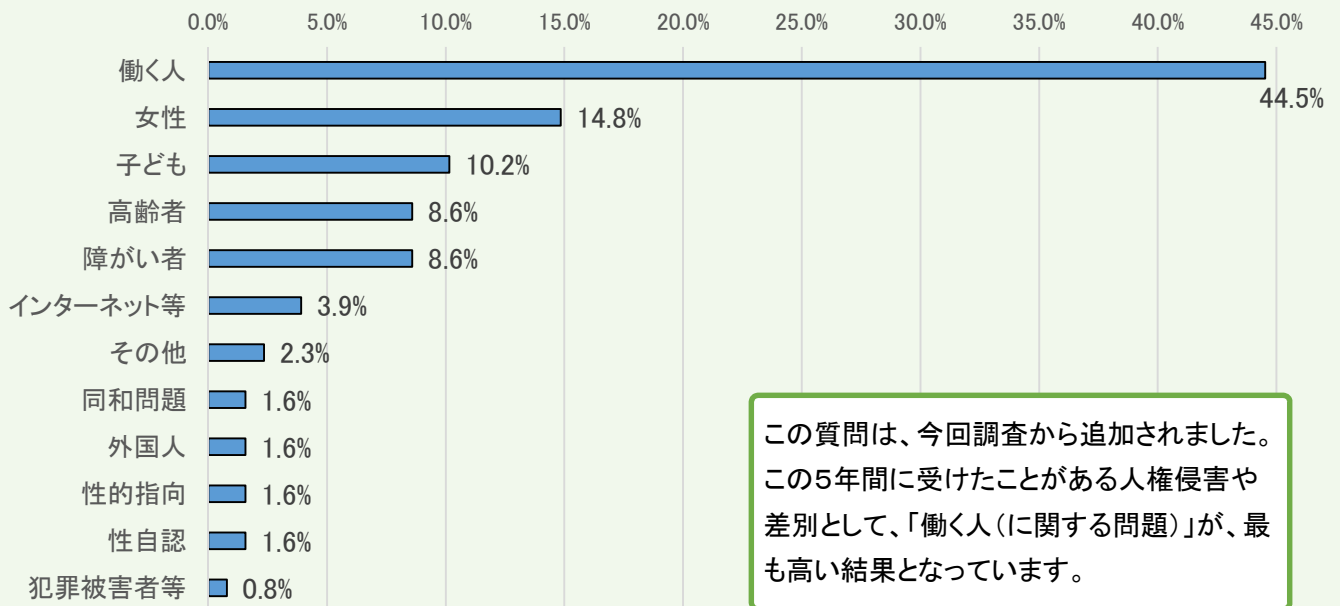
前回調査と比較して、「非常に興味がある」又は「多少興味がある」と思う人の割合は、7.4ポイント増加しています。

Q3 どのような人権問題に関心がありますか（問3）



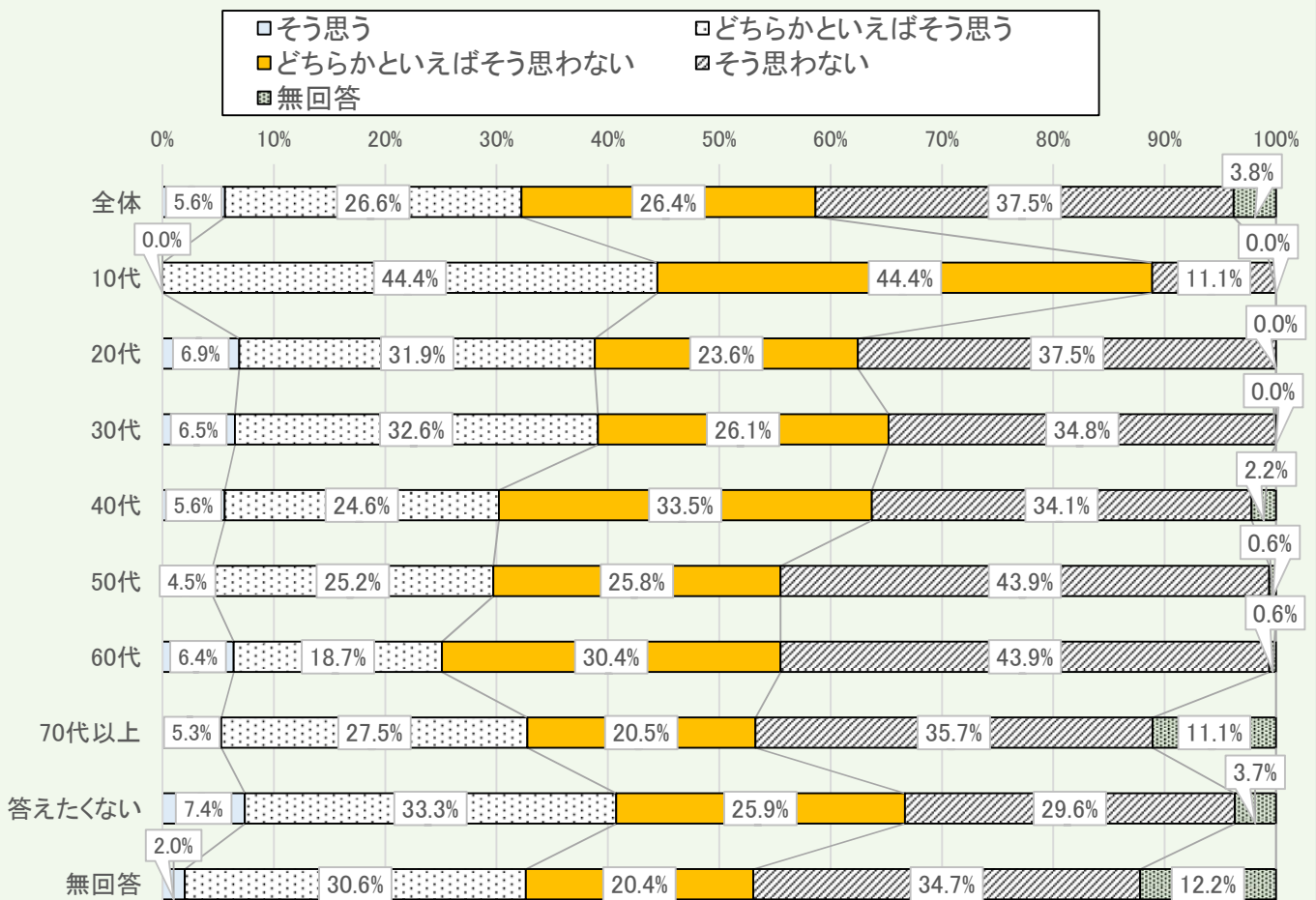
今回調査から追加した「働く人（に関する問題：パワハラなど）」が、最も高い関心の対象となっています。
また、「子ども（に関する問題）」も、前回調査に引き続いて、高い関心の対象となっています。

Q4 どのような人権侵害や差別を受けたことがありますか（問4）



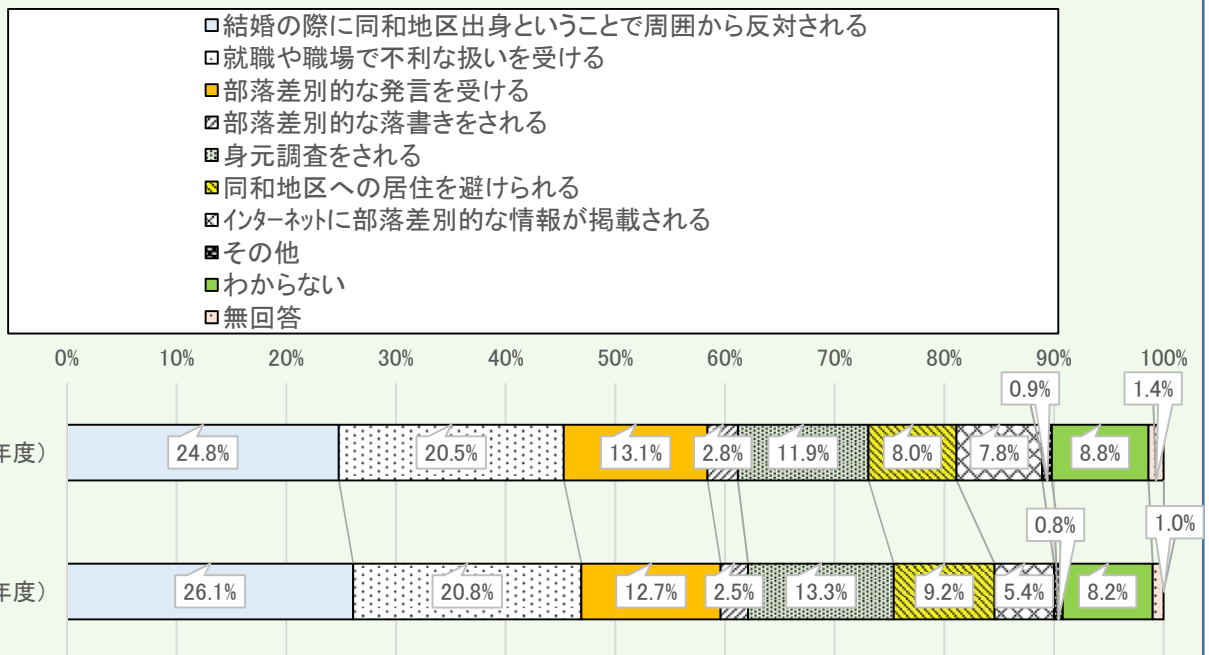
この質問は、今回調査から追加されました。この5年間に受けたことがある人権侵害や差別として、「働く人(に関する問題)」が、最も高い結果となっています。

Q5 差別意識（「人間社会では、ある程度の差別は仕方ない。」という考え方について、どう思いますか。）（問5A）



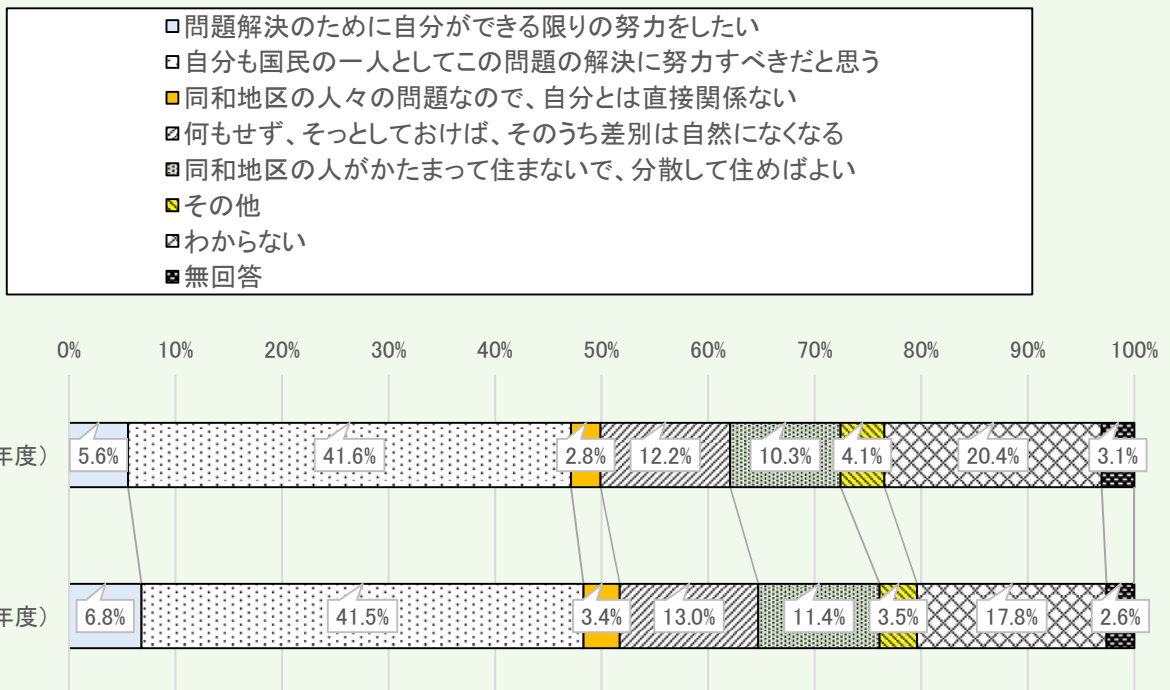
世代別でみると、「人間社会では、ある程度の差別は仕方ない」と考える人の割合は、10代から30代までの比較的若い世代で40%程度を占めています。40～60代で差別を容認しない人が多い傾向が見られました。

Q6 同和地区に関する次のことからのうち、あなたが、特に人権上の問題があると思われるものはなんですか（問9）



同和地区に関して特に人権上の問題があると思うものの割合については、前回調査と同様に、多くの方が、結婚差別、就職差別、差別的発言、身元調査、インターネットに部落差別的な情報が掲載されることなどを問題と思うと回答しています。

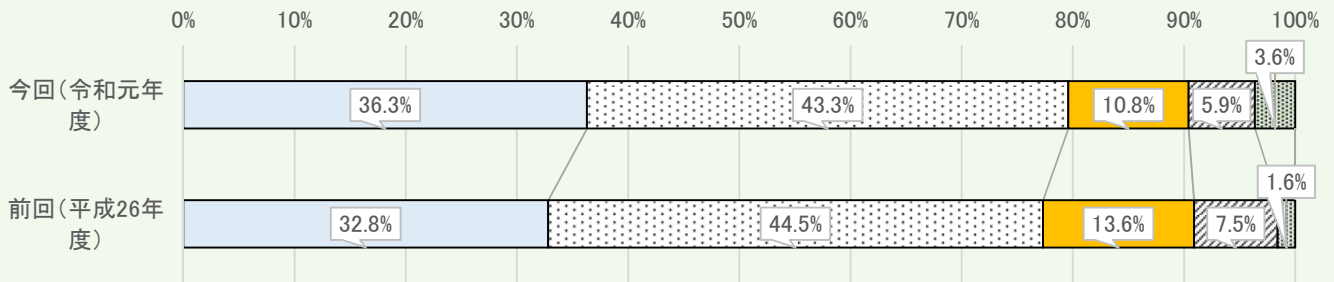
Q7 同和問題の解決に向けたあなたの考えに近いものはどれですか（問12）



「同和問題の解決に向けたあなたの考え」については、前回調査と概ね同様の傾向が見られました。一方で、「わからない」と考える人の割合が、前回調査から2.6ポイント増加し、最も大きな違いとなっています。

Q8 今の社会の中で女性に対する差別・偏見はあると思いますか

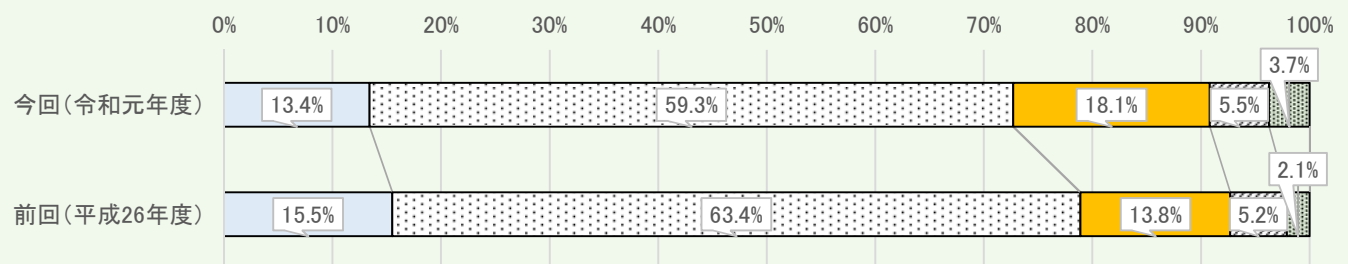
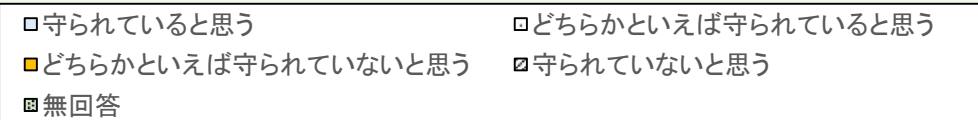
(問 13)



「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合は、前回調査から 2.3% 増加し、その一方で「どちらかといえばないと思う」又は「ないと思う」の割合は、前回調査から 4.4 ポイント減少しています。

Q9 今の社会の中で子どもの人権が守られていると思いますか

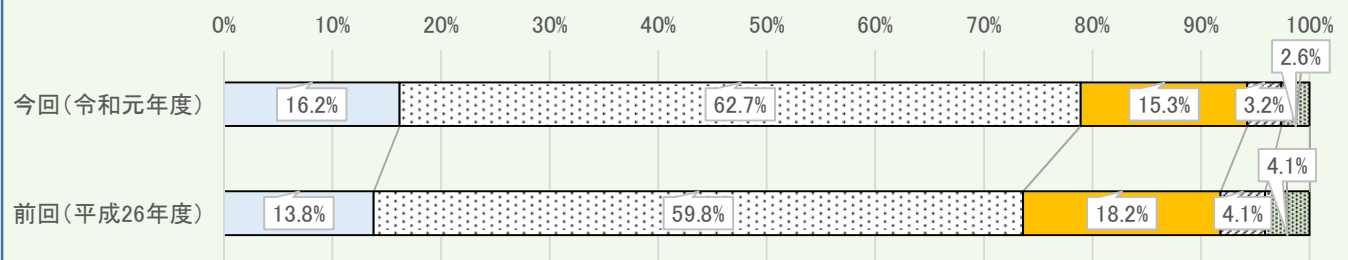
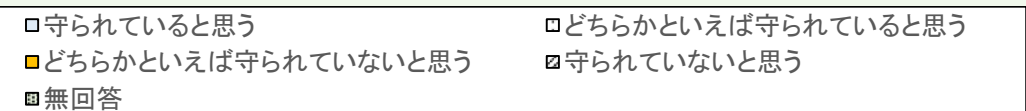
(問 15)



「守られていると思う」又は「どちらかといえば守られていると思う」と答えた人の割合は、前回調査から 6.2 ポイント減少し、その一方で「どちらかといえば守られていないと思う」又は「守られていないと思う」の割合は、前回調査から 4.6 ポイント増加しています。

Q10 今の社会の中で高齢者の人権が守られていると思いますか

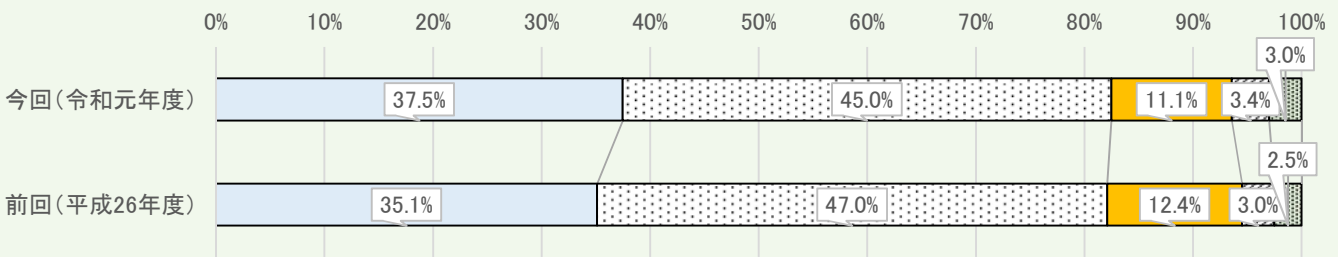
(問 17)



「守られていると思う」又は「どちらかといえば守られていると思う」の割合は、前回調査から 5.3 ポイント増加し、その一方で「どちらかといえば守られていないと思う」又は「守られていないと思う」の割合は、前回調査から 3.8 ポイント減少しています。

Q11 今の社会の中で障がい者に対する差別・偏見はありますか（問19）

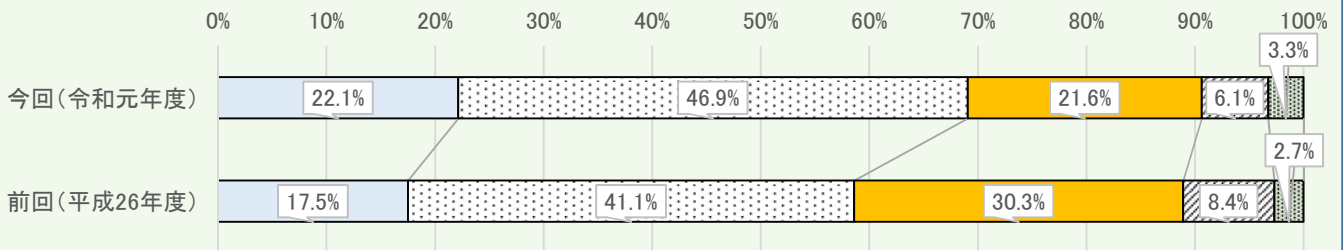
- あると思う
- どちらかといえばないと思う
- ▨無回答
- どちらかといえばあると思う
- ないと思う



前回調査と概ね同様の傾向が見られました。「あると思う」と答えた人の割合が、前回調査から 2.4 ポイント増加したのが、最も大きな違いとなっています。

Q12 今の社会の中で外国人に対する差別・偏見はありますか（問21）

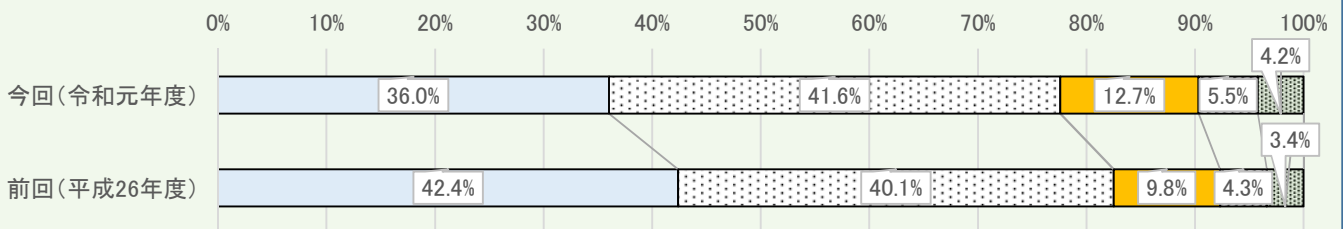
- あると思う
- どちらかといえばないと思う
- ▨無回答
- どちらかといえばあると思う
- ないと思う



「あると思う」又は「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合は、前回調査から 10.4 ポイント増加し、その一方で「どちらかといえばないと思う」又は「ないと思う」の割合は、前回調査から 11.0 ポイント減少しています。

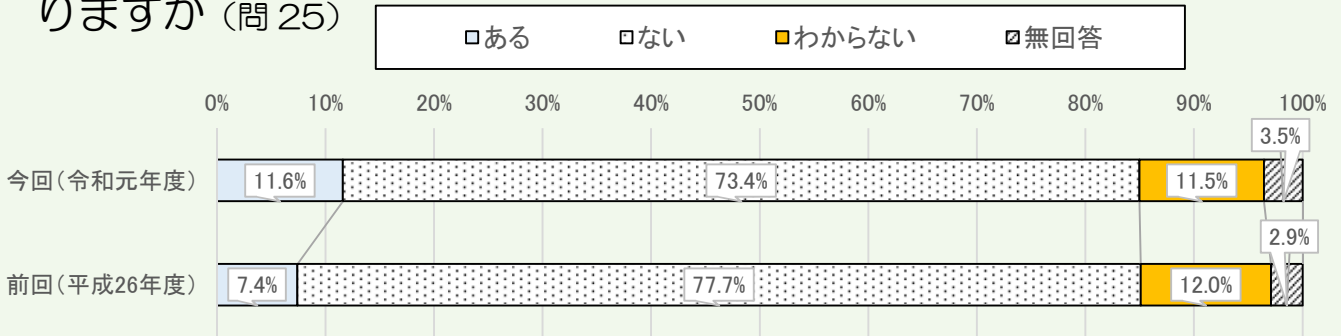
Q13 今の社会の中でHIV感染者やハンセン病患者などに対する差別・偏見はありますか。（問23）

- あると思う
- どちらかといえばないと思う
- ▨無回答
- どちらかといえばあると思う
- ないと思う



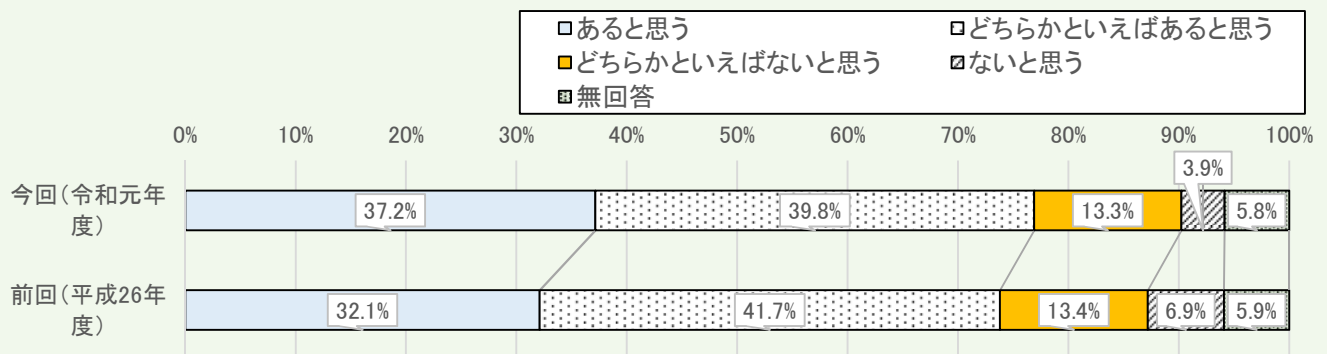
「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合は、前回調査から 4.9 ポイント減少し、その一方で「どちらかといえばないと思う」又は「ないと思う」の割合は、前回調査から 4.1 ポイント増加しています。

Q14 あなたや家族などが、パソコンやスマートフォンなどを利用したインターネットやメールなどによって人権侵害を受けたことがありますか（問25）



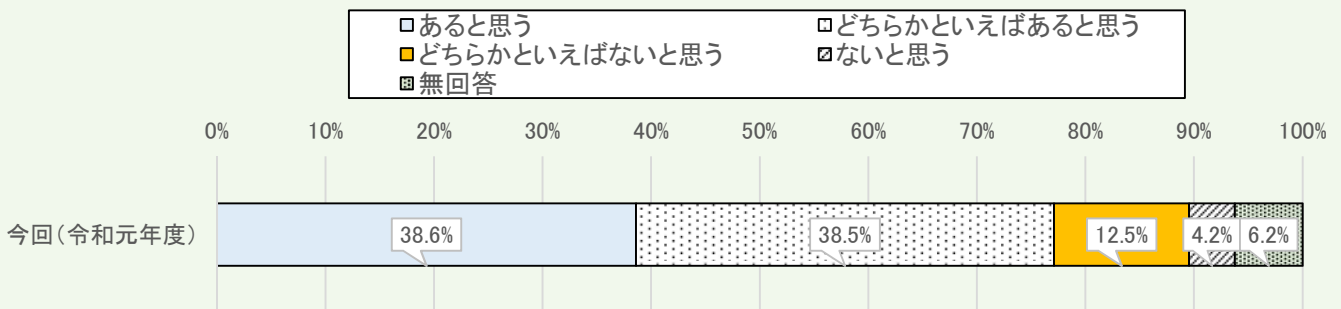
人権侵害を受けたことが「ある」人の割合が、前回調査と比べて4.2ポイント増加し、「ない」人の割合が4.3ポイント減少しています。

Q15 今の社会の中で犯罪被害者及びその家族に対する差別・偏見はあると思いますか。（問27のA）



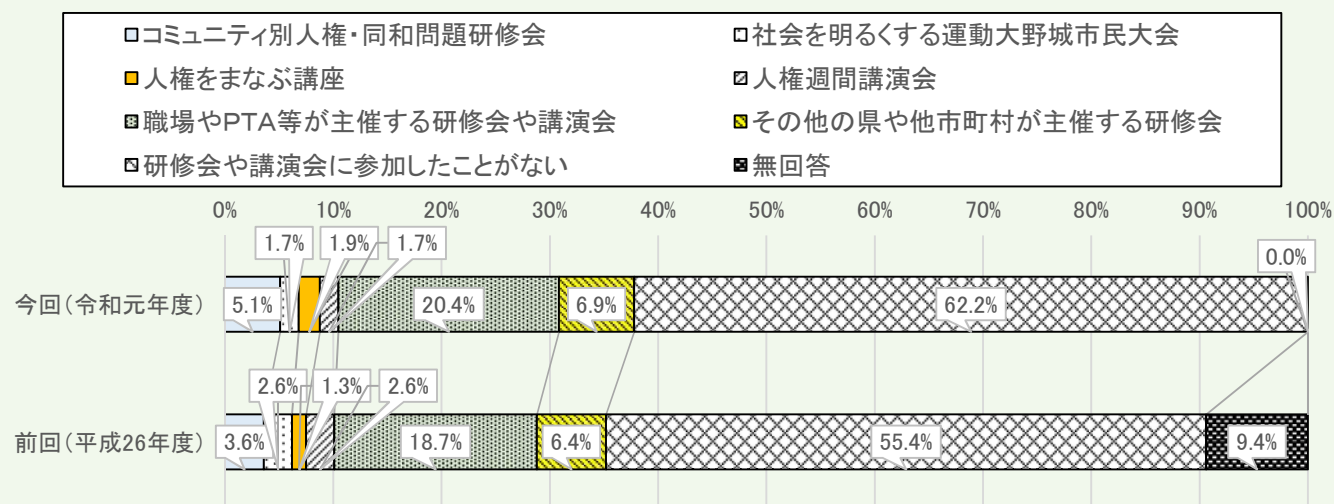
差別・偏見が「あると思う」又は「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合は、前回調査から3.2ポイント増加し、その一方で「どちらかといえばないと思う」又は「ないと思う」の割合は、前回調査から3.1ポイント減少しています。

Q16 今の社会の中で働く人に関する問題（パワーハラスメントや長時間労働など）はあると思いますか。（問27のJ）



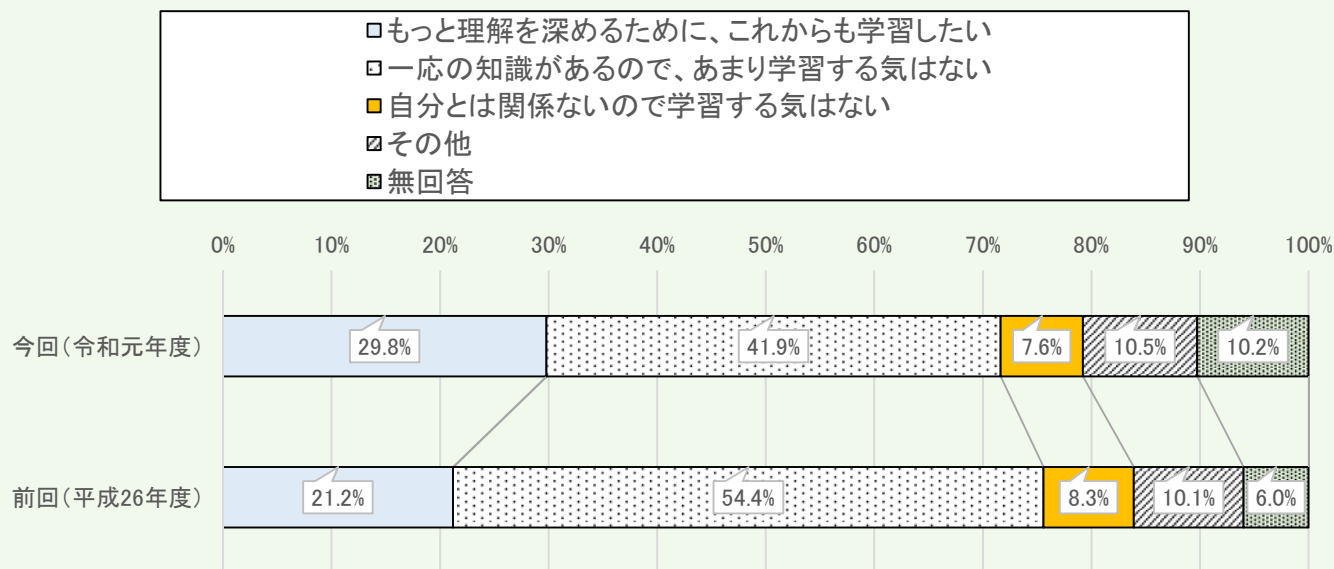
「働く人」に対する問題が「あると思う」又は「どちらかといえばあると思う」と答えた人の割合は、77.1%であり、一方で「どちらかといえばないと思う」又は「ないと思う」の割合は、16.7%となっています。（※今回調査からの新規調査事項のため、前回調査との比較はありません。）

Q17 人権問題についての研修会などに、参加したことがありますか (問 29)



「研修会や講演会に参加したことがない」と答えた人の割合が最も多く、前回調査から 6.8 ポイント増加しており、一般市民の研修会等への参加促進が大きな課題となっています。

Q18 これから人権問題について学習しようと思いませんか。(問 30)



「もっと理解を深めるために、これからも学習したい」と答えた人の割合は、前回調査から 8.6 ポイント増加し、その一方で「一応の知識があるので、あまり学習する気はない」又は「自分とは関係ないので学習する気はない」との割合は、前回調査から 13.2 ポイント減少しており、学習意欲が向上している傾向がみられました。

【お問い合わせ先】 大野城市企画政策部人権男女共同参画課

〒816-8510 福岡県大野城市曙町二丁目2番1号

TEL 092(580)1840 E-mail jinken@city.onojo.fukuoka.jp